

こども家庭福祉の現場に、 やさしい DX がやってきた

見える。つながる。支援が変わる。～こども家庭福祉の新しいかたち～

アイリスは、産学協同の研究開発から生まれたこども家庭支援管理のためのシステムです。

▼何がやさしいの？

- ① やさしい見た目：誰でもすぐに使いこなせる直感的なデザイン
- ② やさしくフィット：こども家庭福祉専門システムで、業務にぴったり
- ③ ニーズにやさしい：現場の「こうしたい」に応じて思い通りの形に
- ④ こどもにやさしい：すべてはこどもの最善の利益のために

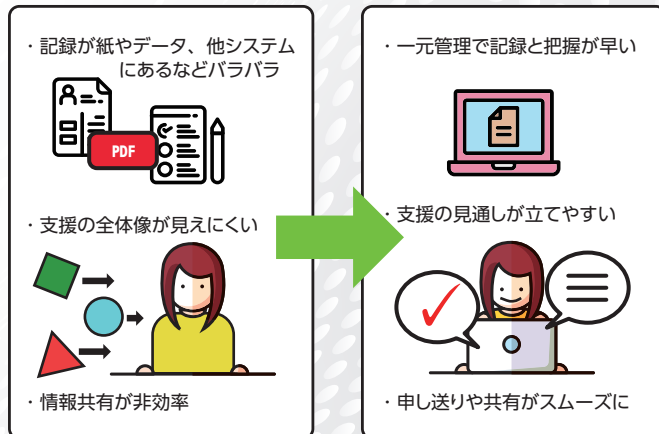


アイリスの主な特徴・機能

情報の一元管理システムです。ケース(対象者)の基本情報、支援記録、ケース進行状況の管理や、帳票出力、情報共有、職員間のコミュニケーション、電子押印ができます。



アイリス導入のメリット



主な採用実績

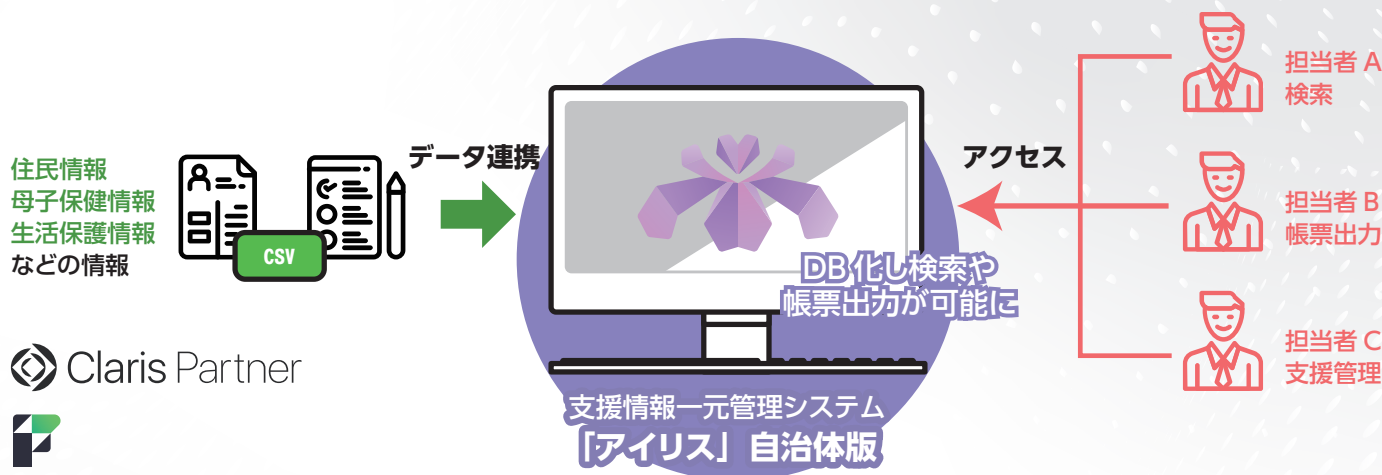
神戸市児童相談所 川崎市児童相談所 山口県平生町こども家庭総合支援拠点 三重県児童自立支援施設 など

アイリスの応用

アイリスをベースに様々な情報に「つながり」「見える」しくみを

「アイリス」は、Apple Japan Inc. が提供するローコード開発ツール「Claris FileMaker」を用いて開発されています。近年、ローコード開発の普及が進む中、Claris は自治体 DX に積極的に取り組み、業務の標準化や課題解決、業務改革の推進において大きな役割を果たしています。

例えば住民情報・母子保健情報・生活保護情報など、ケースに関連する情報を集約してポータル化したり、ケースの進捗に応じて自身のタスクを可視化・管理することが可能です。



Claris FileMaker は Windows、macOS、Linux、iOS、iPadOS、および Web 上でネイティブに動作します。クラウド、オンプレミス、ハイブリッド、モバイル、またはオフラインでも展開できます。



ナナイロこども家庭研究所
所長
芝野 松次郎
関西学院大学
人間福祉学 名誉教授

事業の基盤として児童福祉・ソーシャルワークに精通した知識が欠かせないと考え「こども家庭研究所」を設置しました。
基本的な社会福祉理論や専門価値・機能・支援の手法・現場の知見などを踏まえたこども家庭福祉専門のシステム開発を行なっています。
社会福祉の実践には、エビデンスに基づく判断基準による洩れの無い、迅速かつ適切な対応を実現するための ICT システム、自然な形で援助者から適切な情報収集行動やケース管理行動が引き出される「プロセティック・アプローチ」の観点が大切であると考えます。
これからますます ICT AI が進歩していきます。そうした進歩とその質をしっかりと吟味しながら、電子化を推し進めていく必要があると考えています。

デモンストレーション、見積り・提案のご依頼、お待ちしております。

お問い合わせ先

株式会社ナナイロ



NANAIRO



web-site



営業部 アイリス担当

東京本社 〒155-0032 東京都世田谷区代沢 2-25-13

京都支社 〒600-8409 京都府京都市下京区玉屋町 515-7

e-mail desk@nanairo-inc.co.jp

U R L <https://nanairo-inc.co.jp/service/iris/iris-jichitai-DX/>